

2023年度 九州弁護士会連合会シンポジウム

虹をかけよう、LGBTQ+と、 SOGIEと、それから私、



2023年

9月22日  9時～12時
(開場8時30分)

場所 城山ホテル鹿児島 エメラルドホール

基調講演 人にはそれぞれSOGIEがある! ～すべての人の尊厳が実現する社会を～
鹿児島大学法文学部教授・弁護士 原田 いづみ (鹿児島県弁護士会)

パネルディスカッション

テーマ 「性的指向・性自認・性表現にかかわらず、すべての人が生きやすい社会の実現に向けて」

パネリスト ...らしくつながろうLGBTQ+南さつま/レインボーポート向日葵 正貴
南大隅町立第一佐多中学校 教諭 岩山 浩司
キラメキテラスヘルスケアホスピタル泌尿器科科長 医師 内田 洋介
合同会社Go!Kagoshima 代表 門田 晶子
日本大学危機管理学部 教授 鈴木 秀洋
鹿児島大学法文学部教授・弁護士 原田 いづみ (鹿児島県弁護士会)

コーディネーター 永里 佐和子 (鹿児島県弁護士会)

主催 / 九州弁護士会連合会・鹿児島県弁護士会

シンポジウムに関する問い合わせ 鹿児島県弁護士会 〒892-0815 鹿児島市易居町2番3号 TEL 099-226-3765

MBC NEWS

性の多様性 企業・学校で求められることは? 「自分に向けられていない言葉で傷つくことも」 鹿児島 [09/24 11:45]

性の多様性について考え、誰もが生きやすい社会を目指すシンポジウムが鹿児島市で開催されました。

シンポジウムは、九州弁護士会連合会が開いたもので、300人以上が参加しました。

はじめに、弁護士でもある鹿児島大学法文学部・原田いづみ教授が講演し、性の多様性を尊重する取り組みは企業などにも求められると、過去の事例などを踏まえながら話しました。

(原田いづみ教授) 「自分に向けられた言葉でないと分かっているとしても傷つく。社員全体の教育が必要」

また、トランスジェンダー当事者や教育関係者らによるパネルディスカッションもあり、参加した中学校の教員からは、名前の呼び方を「さん」に統一したり、男女別の名簿を廃止したりするなどの取り組みが紹介されました。